

保谷小教育目標  
すすんで学ぶ子  
助け合う子  
元気な子

# 保小だより



NO. 474・11月号 西東京市立保谷小学校 令和3年10月29日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

タブレットを活用した充実した学習を目指して

校長 野崎 信行

9月のオンライン授業は学校にとって初めての取組でした。各家庭でも不安や困り感があったことと思います。そのような状況でも様々な面でご理解とご協力をいただき、オンライン授業を最後まで行うことができました。「家でも通常のような授業を受けることができた」「授業の様子を見ることができた」など良い感想もいただきました。ありがとうございました。

オンライン授業を進めていくと授業内容が豊かになっていきました。いつもの日常のように黒板を写して指導を進める授業、タブレット上で資料等を提示しながら進める授業、さらには、国語の習字、音楽のリコーダー、家庭科の小物づくり、体育の簡単な運動などの実技の授業を実施し、当初に考えていた以上のオンライン授業を行うことができました。反対に様々な課題もありました。再度オンライン授業を実施しなければならない状況になれば、今回の成果・課題を生かして行っていきます。

さて、10月になり通常の対面授業が始まりました。オンライン授業とは違ったタブレットの活用の仕方になります。本校でも1学期はタブレット操作に慣れ、調べ学習等に活用してきました。2学期以降も失敗や成功を繰り返しながら学習の場面に応じたタブレットの活用方法を広げ、充実していければと考えています。

例えば、授業の中で跳び箱等の運動・音読・合唱や合奏など動画で確認したり、タブレット上で形を組み合わせる活動を通して図形について学んだり、観察・実験では写真で撮りためて記録を見ながら学習したり、資料集を見るだけでなく動画を見るなど授業に取り入れて授業の質を高めることができます。また、プレゼンテーションを作成して自分の考えを発表することもできます。グループで共有する画面を見ながら話し合い、考えたことを入力します。他グループの画面も見ることができ、参考にしながら自分たちの考えを深めることもできます。さらに、他の小学校や中学校とオンラインで話し合い、遠隔地、海外とも交流できる可能性があります。より良い授業を目指し夢も広がります。

しかし、タブレットの使い方によってはデメリットになることも心配です。タブレットが遊びアイテムになってしまい、休み時間や家に帰ってからずっと使い続けることです。そのことによる視力の低下、他にやるべきことができなくなることを危惧します。子どもは楽しい方を優先しがちです。勉強しているはずの時間が遊びの時間になってしまうことや、チャット等を使って入力した言葉により他の子どもが傷つくことも心配です。先日配布した「保谷小学校タブレット使用のルール」に基づいてタブレットを使うことになっています。学校とともに、保護者の皆様もぜひお子様のタブレットの使用の状況を確認していただき、助言していただければ助かります。

最後に、日頃の授業を充実するためには、今までに学んだ学習が身に付いていることが大切です。習ったことをもとに新たな考えを導き出し、授業に積極的に参加できます。タブレットにはeライブラリアドバンスという基礎学力を身に付けるコンテンツがあり、前学年や1学期の復習ができます。ぜひ、家庭学習にご活用ください。

## 校内研究の取組について 5年生

10月22日（金）に5年2組で国語の研究授業『固有種が教えてくれること』（説明文）を行いました。この学習のめあては、文章と図表やグラフ、写真を結び付けて読み、筆者の論の進め方について考えていくことです。事前に国語に関する意識調査を実施したところ、95%の児童が説明文の内容が分かると回答しました。児童の記述から「説明文に興味がある」「説明文を読み取るのが得意」「説明文の問いや答えのパターンが分かる」などが理由だということが分かりました。一方で、「友達と話し合うときに、すすんで考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりできる」という問いには10%の児童が「いいえ」と回答しました。話し合いにおいて自分の考えをもつことが難しかったり、自分の考えをもつことができても、その根拠となる部分を見付けられなかったりするので工夫①のような手だてを考えました。また、「説明的な文章の学習で分かったことをもとに、根拠を明らかにしながら自分の考えを書くことができる」という問いには20%近くの児童が「いいえ」と回答しました。原因としては、内容理解が不十分で、要旨を正確にとらえていないことが考えられます。そこで工夫②、工夫③の手だてを考え、学習を進めました。

### 工夫① 選択肢を作る。

「固有種が多いわけ」を選択肢から選べるようにし、全員が自分の考えをもつことができる工夫をしました。選択肢を作成するにあたり三つの選択肢のうち一つはすぐに消去できるような内容にし、残りの二つで討論できるようにしました。

### 工夫② 資料の図（4枚）を並び変える。

児童が興味をもって取り組めるようにタブレットを使用して図の並び替えを行いました。並び替えた図を説明する際には、本文から根拠を探し、資料と結び付けて考えるようにしました。また、資料と本文の結び付きが一目で分かるように色分けしてサイドラインを引き、視覚的にも理解できるように工夫しました。長文が苦手な児童に配慮し、本文を段落ごとに提示し、児童の負担を少なくしました。

### 工夫③ 要旨をまとめるための観点を明確にする。

要旨には「筆者が説明してきたまとめ」と「筆者の考え（主張）」の二つを書く必要があることを押さえました。また、児童と確認しながら「筆者が説明してきたまとめ」と「筆者の考え（主張）」を色分けすることで、要旨をまとめることに苦手意識のある児童にも取り組みやすいように配慮しました。



## 自転車教室

10月14日（木）に自転車教室がありました。警察や市役所、自転車商協同組合の方に来ていただき、実際に自転車に乗りながら、気を付けるポイントを教わりました。自転車に乗るときには、道路と反対側の左側から乗ることや、自転車に乗る前に車が来ていないか前後左右を確認して、最後にもう一度右後ろを確認することなどを教えていただきました。また、止まれの標識があるところでは必ず止まって確認することや、信号をきちんと守ることも学びました。脳のやわらかさは豆腐と同じくらいで、頭がい骨があってもコンクリートにぶつけるととても危険なため自転車に乗るときには必ずヘルメットを被り、安全に気を付けて運転する約束をしました。実際に脳のやわらかさとして豆腐のパックや、脳の重さとして牛乳パックと小さいペットボトルを合わせた重さだと見せながら話してもらい、子どもたちは興味津々でした。パンフレットも配布しておりますので、ぜひお子様といっしょに自転車に乗る時のルールを改めて確認していただければと思います。お手伝いしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



## 展覧会について

12月3日（金）4日（土）の2日間にわたり本校で展覧会がおこなわれます。子どもたちは今、作品づくりの仕上げに取り組んでいます。授業中だけでなく休み時間にも図工室に来て作品づくりの最後の仕上げを行う子の姿も見られます。

展覧会では、個人作品に加えて共同作品も制作する予定です。個人作品は、自分の思いや工夫が見て取れます。共同作品は、各自や班でつくったものを一つにあわせて、スケールの大きな作品になります。みんなで作るという楽しさを体験するとともに、スケールが大きいので目で見て体で感じて楽しむことができます。

また、子どもたちの作品づくりの様子もお伝えできたらと思い、その様子をビデオに収めましたので、当日、会場にて上映する予定です。

12月の寒い時期ではありますが、ぜひ、子どもたちの作品の中に込められた工夫やがんばりをご鑑賞いただければと思います。

# 行事予定

11月 行事予定表					
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	月	全校朝会 ALT 午前授業(4-3除) 安全指導 教育実習(始)	16	火	希望個人面談① 5時間授業 SC来校日
2	火	児童の学力向上を図るための調査(6) SC来校日	17	水	集会 ALT 社会科見学(4) オリパラ教育(国際交流)(5)
3	水	文化の日	18	木	5時間授業 希望個人面談②
4	木	社会科見学(5) くらの里(3-1)午後	19	金	就学時健康診断 4時間授業
5	金		20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	全校朝会
8	月	全校朝会 委員会活動	23	火	勤労感謝の日
9	火	お米の学校(5) 5・6校時 遠足予備日(4) SC来校日	24	水	避難訓練(集団下校) ALT 社会科見学(3) SC来校日
10	水	午前授業	25	木	希望個人面談③ 5時間授業 脊柱側わん検診(5)
11	木	児童の学力向上を図るための調査(5)	26	金	教育実習(終)
12	金	展覧会→延期	27	土	
13	土	学校公開④(2・3・4時間目) 4時間授業	28	日	
14	日		29	月	全校朝会 生活目標発表(1年1組) 委員会活動(12月分)
15	月	全校朝会 クラブ活動⑧ 保谷オリンピック週間	30	火	保護者会(5,6) 児童の学力向上を図るための調査(4)

**11/1(月)~11/26(金)の4週間、教育実習生が本校で実習を行います。**

**短い期間ではありますが、よろしくお願いいたします。**